DX DELCATEC

HD レコーダー 屋内用

型番 DDSRR5H1

取扱説明書

保証書付

(注)この製品は犯罪防止システム品ではございません。空巣、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承下さい。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

はじめに
接続
基本設定
録画する
再生する
その他機能
お知らせ

はじめに

本機には、はじめて電源を入れたときに、"かんたん設定"画面が表示され、本機の使用に必要な設定を行なう機能があります。
「"かんたん設定"を使って設定する」p.16 をご覧になり、設定してください。

HDD HDMI

HDD(ハードディスク)は一時的な保存場所です。
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容(録画済の映像データなど)の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いません。

保証書について

◆ 保証書に販売店名と購入日(購入日を証明する納品書や領収書)の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。
内容をご確認の上、大切に保管してください。

この取扱説明書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本機の動作状態によっては､実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

本書で使用するマークの意味

◆ マークの意味

本機を使う際に、気をつけていただきたい情報です。

メモ　本機を使う際の、補足説明やお知らせです。

もくじ

はじめに

2　この取扱説明書について
2　本書で使用するマークの意味
4　安全上のご注意
6　使用上のお願い
9　確認と準備
9　付属品を確認する
10　各部の紹介
10　本体前面
11　本体背面
12　リモコン
12　リモコンの使用範囲について

接続する

13　使用例と接続方法
14　電源を入れる
14　リモコンの準備

基本設定

16　本機の設定
16　"かんたん設定"を使って設定する
22　"かんたん設定"をやり直す
23　ログインする
23　スタートメニューについて
24　画面表示の見かた

録画する

26　録画の前に
26　HDDについて
26　録画された映像の構成について
26　録画モードとおおよその録画時間（目安）について
27　録画についての補足説明
28　録画する
28　録画モード（画質）を変更する
28　手動で録画を開始・停止する
29　常時録画をする
30　スケジュール予約をするには
31　簡単予約をする
31　予約設定をコピーする

再生する

32　再生の前に
32　録画した映像（タイトル）の一覧（再生ナビ画面）について
33　リジュームポイント（"続きから再生"）について
33　再生についての補足説明
34　録画した映像を再生する
35　いろいろな再生
35　速度を変えて再生する
36　見たいシーンまでとばす（頭出し）
36　再生映像を拡大する

その他の機能

37　タイトルをUSBメモリーに書き出す
38　いろいろな設定を変える
38　"本体設定"メニューを使う
39　"本体設定"メニューの項目と設定内容

お知らせ

40　仕様
41　困ったときは
41　よくあるご質問
42　こんなメッセージが表示されたときは
43　おかしいな？と思ったときの調べかた
47　本機で使われるソフトウェアのライセンス情報
47　さくいん
48　外形寸法図
48　保証書

安全上のご注意 必ずお読みください

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

◆ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷 *1 を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が傷害 *2 を負うことが想定されるか、または物的損害 *3 の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

◆ 図記号の例

図記号	図記号の意味
禁止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

プラグを抜け

次のときは、ただちに電源プラグを抜く
- 煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき
- 内部に水や異物がはいったとき
- 落としたり、本機を破損したとき
- 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき

そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検･修理・交換をご依頼ください。また、本機が破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。

禁止

電源コードは
- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 他の電源コードは使用しない
- 他の機器に使用しない

火災・感電の原因となります。

指示

電源コードは次のことを守って使用する
- コンセントや配線器具の定格内で使用する

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因になります。
- プラグを持って抜き差しする

コードが傷つき火災や感電の原因となります。
- 定期的にプラグのホコリを取り除く

プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 痛んだまま使用しない

コードやプラグの修理は販売店などにご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない
感電の原因となります。

指示

電源プラグは交流 100V のコンセントに接続する
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

禁止

電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

禁止

次の場所に設置しない
- 強度の不足する場所、不安定な場所

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気や油煙、ホコリの多い所

火災や感電、故障の原因となります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所

取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- 可燃性ガスの雰囲気中

爆発によるけがの原因となります。

分解禁止

修理・改造・分解はしない
火災・感電の原因となります。点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない
ぬれた手でさわらない
火災・感電の原因となります。

上載せ禁止

上にものを置かない
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

禁止

本機にダストスプレー（エアダスター）を使用しない
製品内部にガスが溜まった場合、引火し爆発する恐れがあります。

禁止

無理な力を加えたり傷つけない
- **接続ケーブルには、信号以外に電流が流れます。接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり (熱器具に近づけたり)、引っぱったりしないでください。**

同軸ケーブルなどが傷んだときは (心線の露出、断線など) お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

禁止

結露した状態で使用しない
故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれた後に電源供給し直してください。

指示

プラグを抜け

配置、点検時は次のことに注意する
- **配置・配線を伴う作業の時は電源プラグをコンセントから抜いてください。**

感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- **足場と安全を確保し、感電防止など安全対策を行なってください。**

落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
- **強風や雨、雷、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事や点検をしないでください。**

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- **本体や部品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。**

けがや故障の原因となります。
- **ケーブル類は正しく配置してください。**

引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- **取り付けのネジやボルトは、締め付け力 (トルク) 指定がある場合はその力 (トルク) で締め付け、堅固に固定してください。**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

指定以外の機器・アクセサリーは使用しない
指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。

⚠注意

工事に関しては工事店などに依頼する
- **工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店や工事店にご依頼ください。**

火災、感電、けが、故障の原因となります。

正しく接続する
正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

風通しの悪い場所に置かない
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがない
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
これら通風孔とラックとの間は 10cm 以上離してください。

旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります

高い場所に設置しない
本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

電源を入れる前には音量を最小にする
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない
音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

リモコンに使用している乾電池は、
- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性［(＋) と (−)］を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

定期的に点検する
- **取り付けがゆるんだり、落下による破損、けがの原因となります。**
- **長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障や事故につながることがあります。**

使用上のお願い 必ずお読みください

◆ 設置上のお願い

設置工事は、電気設備技術基準に従って行なってください。
本機を設置･接続する前に、必要な機器とケーブルを確認し、準備してください。設置・接続作業前に、この製品に接続する周辺機器の電源を切ってください。

設置説明に従って、正しく設置してください。正しく設置しなかった場合の製品の故障および事故などについて、当社はその責任を負えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

取り付けネジについて

- 据え置き以外の取付方法の場合、設置方法に応じてネジや金具類をご準備ください。取り付ける場所の材質や構造、総重量を考慮して、別途ご準備ください。

電波障害について

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界 (モーター、トランス、電力線など) の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。
- この製品を使用すると、電波妨害を引き起こす恐れがあります。

◆ 取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

◆ 使用しないときは

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

◆ 置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの他機の近くに置くと、お互いの機器が悪影響を与え合って、映像や音声が乱れることがあります。万一、このような症状が発生した場合は他機からできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

HDD（内蔵ハードディスク）についての重要なお願い

本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されています。
HDD は衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。

- 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
- 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
- 本機は水平に置いてください。
- 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
- 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
- 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。

HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。このため HDD は、録画した内容の恒久的な保存場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、一時的な保存場所として使用してください。「上書き録画」を「入」に設定していると、HDD の残量がなくなると録画済の古い映像から自動的に消されるため、消したくないタイトルは USB へ書き出して保存しておくことをおすすめします。ただし、保存したタイトルはパソコンでのみ視聴が可能です。本機では再生できません。

また、HDD 内に壊れかけている部分があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。パソコンと同様に、HDD は壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。

◆ お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本体のよごれはやわらかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面を変質させせます。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を水で薄めて柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、更に温水を含ませ固く絞った後、十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。
- 安全にお使いいただくために、1 年に 1 回をめやすに、販売店や工事店 (施工業者) による定期的な点検をお勧めします。

◆ 本機は日本国内（AC100V）専用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。（日本国内以外のアフターサービスもできません。）外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

◆ RF 入力について

- OFDM 変調器から接続された RF 入力からの画像は OFDM 変調器の出力レベルによって大きく左右されます。
- OFDM 変調器からの出力レベルが低い場合は、受信状態が悪くなることがあります。この場合は OFDM 変調器の出力レベルを上げてください。くわしくは、OFDM 変調器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

◆ たいせつな録画について

- たいせつな録画の場合は、事前に試し録画を行ない、正しく録画できることを確かめておいてください。本機を使用中、何らかの不具合によって、録画されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- OFDM 変調器の出力レベルや、映像チャンネルおよび映像によっては、映像が乱れることがあります。OFDM 変調器をご使用の際にはレベル調整に注意のうえ、設定後は録画が適切にできているかご確認いただくことをお勧めします。

◆ 停電について

- 本機の録画中に停電があった場合、その内容は記録されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、記録済みの内容が読み出せなくなることがあります。

◆ 本体前面のランプについて

- 本機の基本動作は本体前面にある電源ランプ、録画ランプの点灯や点滅でお知らせします。電源やシステムエラーなどの異常時は点滅を繰り返します。くわしくは、「本体前面」p.10 をご覧ください。正常に動作しない、あるいは故障かなと思ったら、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、当社カスタマーセンターまでご連絡ください。

◆ 再生するときの制約

- ボタン操作中にテレビ画面に“⃠”が表示されることがあります。“⃠”が表示された時は、現在本機がその操作を行えないことを示します。

◆ 時刻情報について

- 地上デジタル放送を介した時刻情報を受信するには、本機を地上デジタル放送に対応した UHF アンテナや CATV に接続する必要があります。（ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。）
- カメラの信号を接続している OFDM 変調器の出力からは時刻情報の取得はできません。

◆ 結露（露付き）について

結露は本機を傷めます。

- 例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機内部の部品などに水滴がつくことがあります。

“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

- 結露がある状態では電源プラグをコンセントに挿入しないで下さい。

使用上のお願い ・つづき

◆ HDDおよび冷却ファンの交換目安について

- HDDや冷却ファンは、消耗劣化する部品です。使用環境により寿命は異なりますが、＋25℃の環境でご使用になる場合で、常時録画を2～3年使用し続けると、HDDや冷却ファンの寿命により故障する場合があります。（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。）

◆ 免責について

- この製品は、特定エリアを対象に映像を得ることを目的としたもので、製品単独で犯罪を防止するものではありません。
- 当社はいかなる場合でも以下については一切の責任は負いません。あらかじめご了承ください。
  ① 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害
  ② この製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）
  ③ お客様によりこの製品が分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかに関わらず、発生した一切の故障または不具合
  ④ この製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、録画された映像が表示できないことによる不便・損害・被害
  ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  ⑥ お客様による映像監視（記録を含む）が何らかの理由により公となり、または使用され、その結果被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害等を理由とする、いかなる賠償請求、クレームなど
  ⑦ 登録した情報内容の、何らかの原因による消失
  ⑧ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害

◆ 個人情報の保護について

- 防犯カメラで撮影された映像の中で個人が判別できる情報については、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当する場合があります。（経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」の【個人情報に該当する事例】参照：http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/privacy/kojin_gadelane.htm）
- 映像情報は、個人情報の保護に反しないよう適正にお取り扱いください。

◆ 本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

廃棄の際は産業廃棄物として廃棄頂く必要があります。また、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

- 本機に録画されたデータには、個人情報を含むものがあります。本機を廃棄または譲渡される場合には、その取り扱いに十分注意したうえで、廃棄または譲渡を行なってください。

◆ ライセンスまたは権利について

- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスを受けており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- Microsoft®、Windows®、Windows® 7は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。）
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

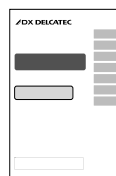
確認と準備

付属品を確認する

□の中に、チェックマーク（✓）を付けてご確認ください。
欠品などお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ リモコン／１個

□ 映像接続コード／１本

□ 本書（取扱説明書）／1冊

□ 単四形乾電池／２本

□ 音声接続コード／１本

□ RF ケーブル／１本

各部の紹介

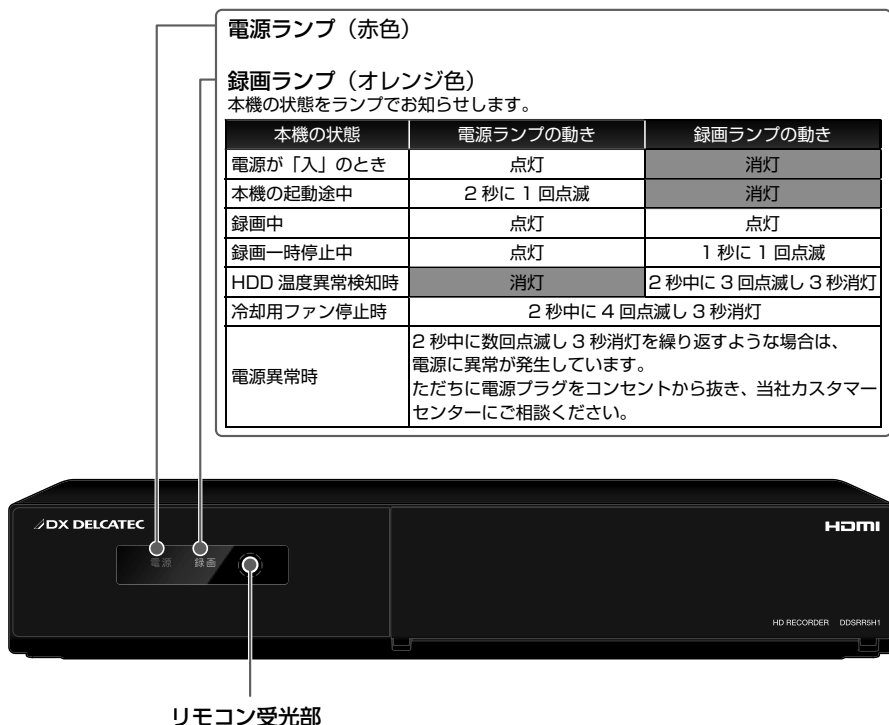
本体前面

電源ランプ（赤色）

録画ランプ（オレンジ色）

本機の状態をランプでお知らせします。

本機の状態	電源ランプの動き	録画ランプの動き
電源が「入」のとき	点灯	消灯
本機の起動途中	2 秒に 1 回点滅	消灯
録画中	点灯	点灯
録画一時停止中	点灯	1 秒に 1 回点滅
HDD 温度異常検知時	消灯	2 秒中に 3 回点滅し 3 秒消灯
冷却用ファン停止時	2 秒中に 4 回点滅し 3 秒消灯	
電源異常時	2 秒中に数回点滅し 3 秒消灯を繰り返すような場合は、電源に異常が発生しています。 ただちに電源プラグをコンセントから抜き、当社カスタマーセンターにご相談ください。	

リモコン受光部

- 「録画一時停止中」が発生する条件は p.27 を参照してください。

本体背面

電源コード

アンテナ線やテレビなど、必要な接続が終わってから、交流(AC)100V の電源コンセントに接続します。p.14

RF 入力／出力端子

地上デジタル放送対応のアンテナ線を接続します。p.13

映像／音声出力端子

テレビの映像（黄）・音声（赤／白）入力端子と接続するときに使います。

冷却用ファン

HDMI 出力端子

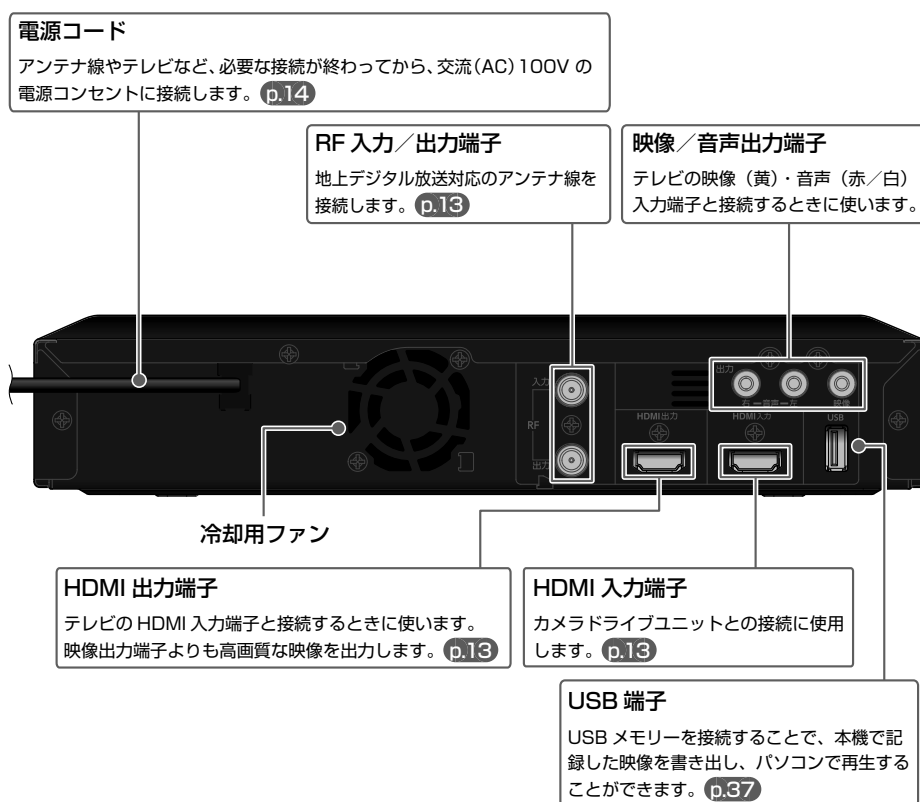
テレビの HDMI 入力端子と接続するときに使います。映像出力端子よりも高画質な映像を出力します。p.13

HDMI 入力端子

カメラドライブユニットとの接続に使用します。p.13

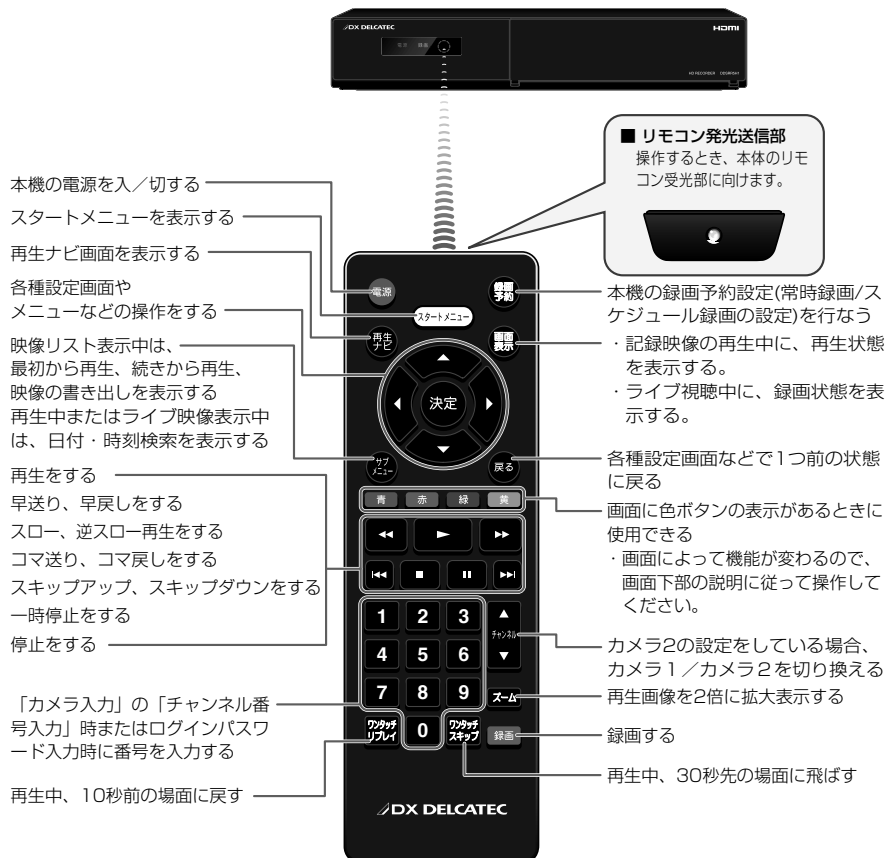
USB 端子

USB メモリーを接続することで、本機で記録した映像を書き出し、パソコンで再生することができます。p.37

メモ

- 本機は、以下の信号が入力されているときのみ正しく録画・視聴することができます。
  - HDMI 入力使用時：1080i/59.94Hz、1080i/60Hz の信号（HDCP によるコピーガードがないこと）
  - RF 入力使用時：　1080i/59.94Hz の信号 (ただし、録画禁止映像は録画できません)

各部の紹介 ・つづき

リモコン

乾電池の入れかたは「リモコンの準備」p.14 をご覧ください。

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

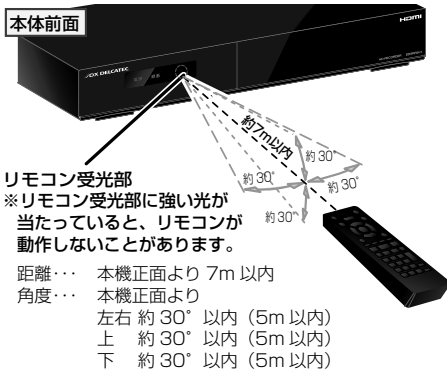
リモコン受光部
※リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

距離･･･ 本機正面より 7m 以内
角度･･･ 本機正面より
左右 約 30° 以内（5m 以内）
上　約 30° 以内（5m 以内）
下　約 30° 以内（5m 以内）

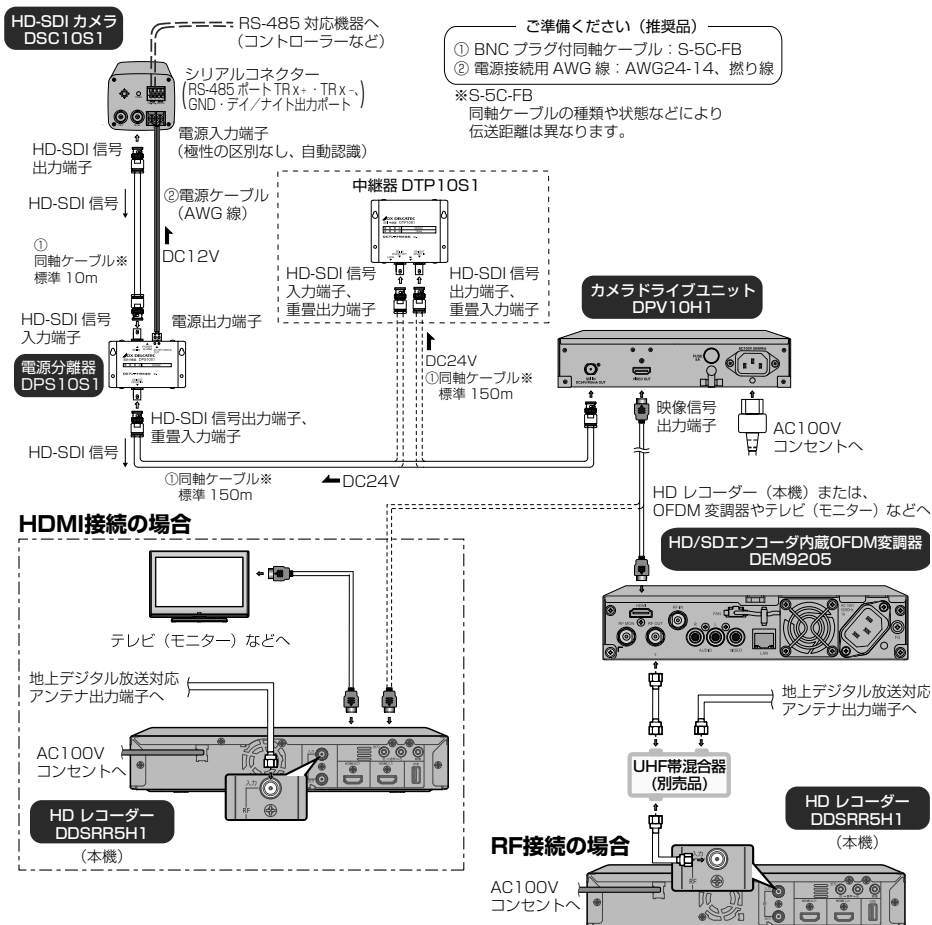
ご注意

- テレビ画面に“⃠”が表示されるときは、現在その操作を行なうことができません。

リモコンの取扱いについて

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

使用例と接続方法

（注意）設置、接続する際は、電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

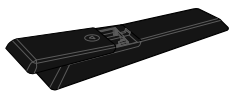
◆ 本機と HD-SDI カメラ・カメラドライブユニット・OFDM 変調器・テレビへの接続例（カメラ１台）

ご注意

- 本機ではデジタル放送の番組や、デジタル放送のラジオ放送やデータ放送など、公共放送は視聴、受信、録画や記録はできません。
- HD-SDI カメラには必ず電源分離器を接続してください。カメラ故障の原因となりますので、同軸ケーブルをカメラドライブユニットや中継器から直接カメラに接続しないでください。
- 本機とカメラ２台を接続して同時録画を行う場合は、２台の OFDM 変調器と地上デジタル放送信号を UHF 帯混合器で接続してください。

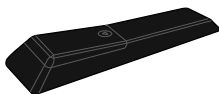
※ 接続される機器の操作につきましては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる

リモコンの準備

1 リモコンの裏面のフタをはずす

2 付属の電池の(−)側を先に入れたあと、(+)側を入れる

- 単四の乾電池（1.5V 2 本）をお使いください。

3 裏面のフタを取り付ける

当社製の DVD プレーヤー内蔵テレビや テレビデオをご使用になる場合

本機の近くに、DVD プレーヤー内蔵テレビやテレビデオがある場合、本機のリモコンを操作したときに、DVD プレーヤー内蔵テレビやテレビデオが同時に動作することがあります。また、同一機器を２台以上ご使用の場合も同時に動作することがあります。これは、リモコンから発する赤外線の波長が、共通の波長を使用しているために起こる現象です。同時動作を防ぐには、DVD プレーヤー内蔵テレビやテレビデオのリモコン受光部を、赤外線を透さないもの（雑誌など）で遮るようにしてください。

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

ご注意

リモコンの乾電池について

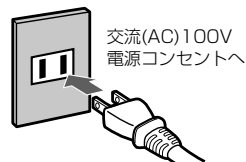
- **乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。**
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
  - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- **オキシライド乾電池（ZR6）、エボルタ乾電池 (LR6) などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。**
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

1 すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

交流(AC)100V 電源コンセントへ

電源プラグを交流（AC）100V の電源コンセントに差し込むと、
本機が通電状態になり、自動的に電源が入ります。
本機の起動中は、本体前面の電源ランプが点滅します。

電源ランプが点滅中は、本機の操作はできません。

点滅が終わるまで少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。点滅が終わると、本機の操作ができるようになります。

2 テレビの電源を入れ、本機が接続されている入力に切り換える

ご注意

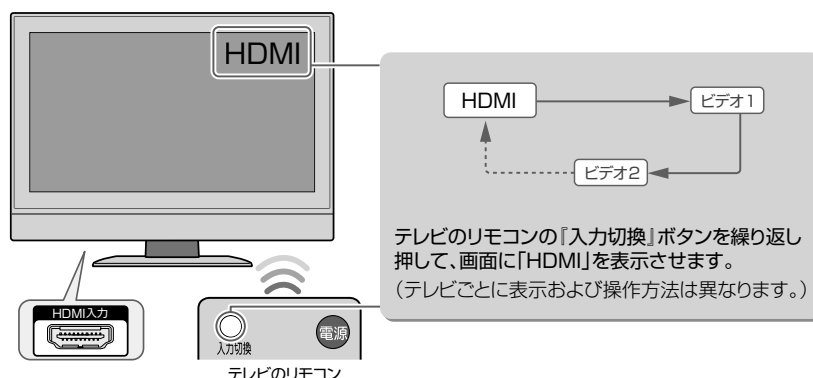
- 地上デジタル放送対応のアンテナ線や CATV を本機経由で TV へ入力し、視聴されているお客様は、本機の電源コードをコンセントから抜くと、テレビの映りが悪くなることがあります。
その場合は、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで (通電状態にして) おいてください。

次ページ p.15 へつづく

2-1　テレビの電源を入れる

2-2　テレビの入力切換を、本機が接続されている入力に切り換える

（テレビのリモコンで切り換えます。）

■ 本機のHDMI出力端子をテレビの「HDMI入力」端子に接続しているときの例

2-3　本機の電源が切れている場合は、電源を入れる

（録画を停止させない限り、電源は切れません。）

電源が入ると、本体前面の電源ランプが点滅します。
画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。

▼

本機の準備が完了すると、本機に接続している監視カメラの映像がテレビに映ります。（初回は下記”かんたん設定”画面となります。）

ご注意　“かんたん設定”画面が表示された場合

- 電源を入れたあと、左のような画面が表示された場合は、本機を使うための設定が終わっていません。「本機の設定」p.16 をご覧になり、“かんたん設定”を行なってください。

本機の設定

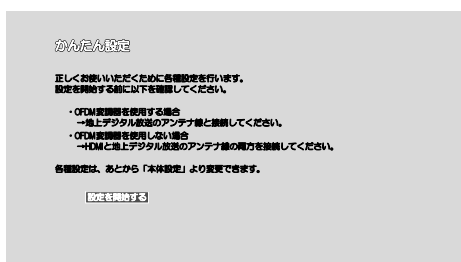
“かんたん設定”を使って設定する

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に“かんたん設定”画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って、次の順で設定してください。

ご注意

- 本機の時刻情報は地上デジタル放送から取得します。手動設定で時刻設定を行う事も可能ですが、正確な時刻を設定するために地上デジタル放送を入力した状態でかんたん設定を行う事をお勧めします。
- 地上デジタルから時刻情報を取得する際は、必ず放送のある時間帯に行って下さい。
- “かんたん設定”実行中は、電源コードを抜いたり電源を切らないでください。
- “かんたん設定”をやり直したいときは p.22 をご覧ください。

1 ● テレビの電源を入れる
● テレビの入力切換を、本機が接続されている入力に切り換える

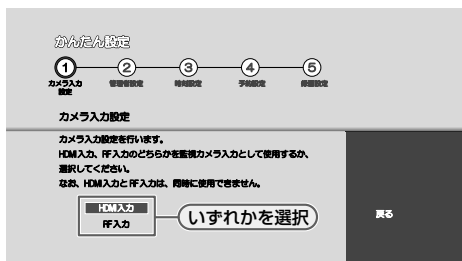
2 本機の電源が切れている場合は、電源 を押して本機の電源を入れる

- “かんたん設定”の開始画面が表示されます。
- “かんたん設定”の開始画面が表示されないときは、次のことを確認してください。
  - 本機とテレビを HDMI ケーブル (市販品) または映像接続コード (付属品) でつないでいますか。
  - コードをつなぎ間違えたり、抜けたり抜けかかったりしていませんか。
  - テレビの入力切換で本機を接続した入力に切り換えていますか。

これらを確認しても開始画面が表示されない場合は、

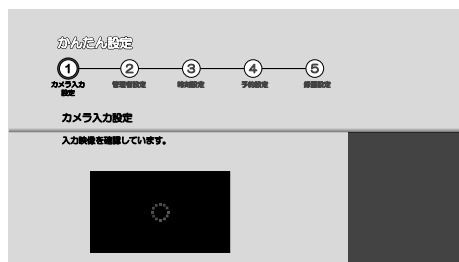
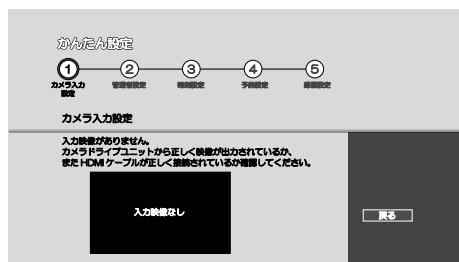
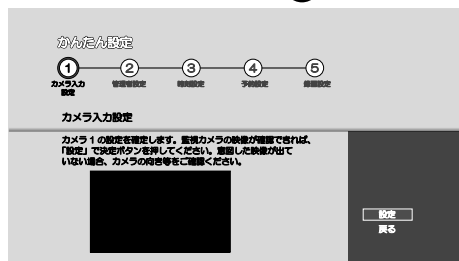
●●▶ 「“かんたん設定”をやり直す」p.22 の手順を行なってください。

3 “設定を開始する”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

カメラ入力設定

4 で監視カメラからの映像入力元を選び、決定を押す

“かんたん設定” の説明をもう一度読むには
で “戻る” を選び、決定を押してください。

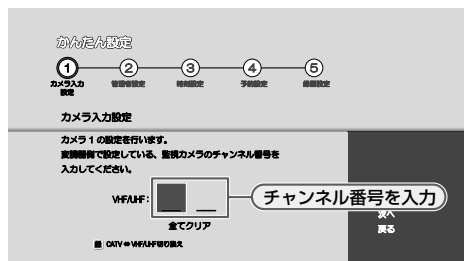
■ “HDMI入力” を選んだとき

1 本機へ入力されたカメラの映像を確認する

映像入力が確認できなかったときは
下の画面が表示されますので、カメラドライブユニットとの接続に問題ないか確認してください。カメラドライブユニットとの接続が改善されると、本機は自動的に映像入力の確認を行ない、手順 2 に進みます。

2 HDMI入力からの映像入力が正しければ、で “設定” を選び、決定を押す

意図した映像が出ていない場合は
監視カメラの向きなどを確認してください。

●● ▶ 管理者設定 p.19 へつづく

本機の設定 ・つづき

■ “RF入力”を選んだとき

❶ 1 ～ 0 でカメラ1を接続しているOFDM変調機の出力チャンネル番号を入力し、 で“次へ”を選び、決定 を押す

❷ 本機へ入力されたカメラ1の映像を確認する

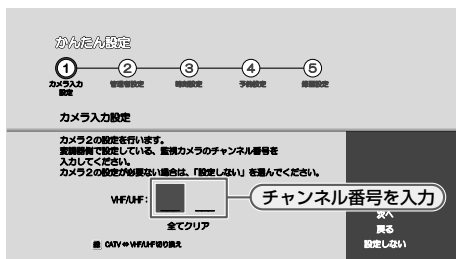
☞ 映像入力が確認できなかったときは
接続やチャンネル設定に問題ないか確認し、 で“再確認”を選び、決定 を押してください。

チャンネル設定を再度行うには、 で“戻る”を選び、決定 を押して、手順 ❶ からやり直してください。

❸ カメラ1からの映像入力が正しければ、 で“設定”を選び、決定 を押す

☞ 意図した映像が出ていない場合は
監視カメラの向きなどを確認してください。

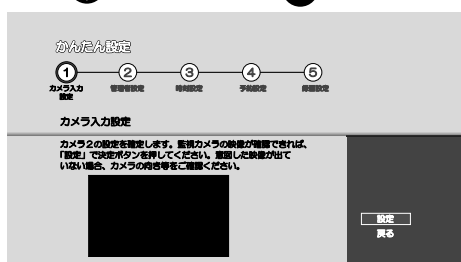
❹ 1 ～ 0 でカメラ2を接続しているOFDM変調機の出力チャンネル番号を入力し、 で“次へ”を選び、決定 を押す

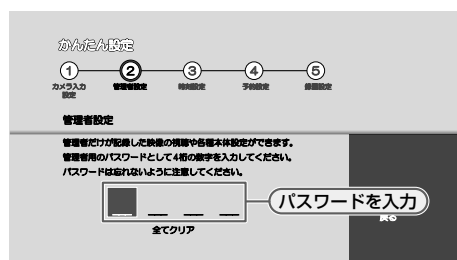
☞ カメラ１のみで使用される場合は
で“設定しない”を選び、決定 を押して、手順 **5** 管理者設定に進んでください。

- カメラ１と同じチャンネル番号は設定できません。

❺ 本機へ入力されたカメラ2の映像を確認する

映像入力が確認できなかったときは
接続やチャンネル設定に問題ないか確認し、(決定)で“再確認”を選び、決定を押してください。

チャンネル設定を再度行うには、(決定)で“戻る”を選び、決定を押して、手順4からやり直してください。

6 カメラ2からの映像入力が正しければ、(決定)で“設定”を選び、決定を押す

管理者設定

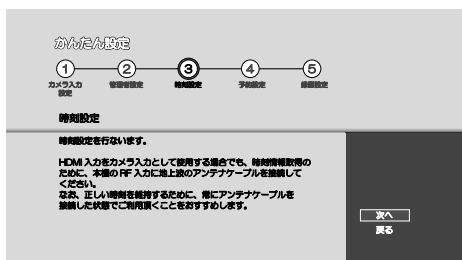
5 1 〜 0 で4ケタのログインパスワードを入力する

6 1 〜 0 でもう一度ログインパスワードを入力する

基本設定

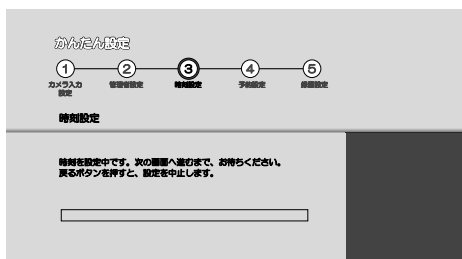
●● ▶ 次ページへつづく

本機の設定 ・つづき

時刻設定

7 時刻設定の確認画面を表示する

時刻情報を自動で取得するためには

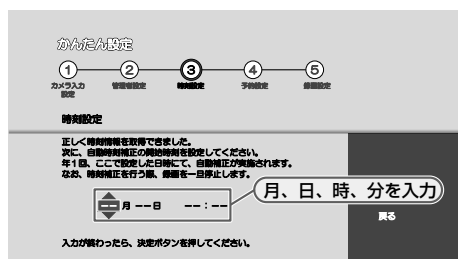
手順 **4** カメラ入力設定で“HDMI 入力”を選んだ場合も、本機背面の RF 入力端子に地上波の RF ケーブル (付属品) を接続してください。

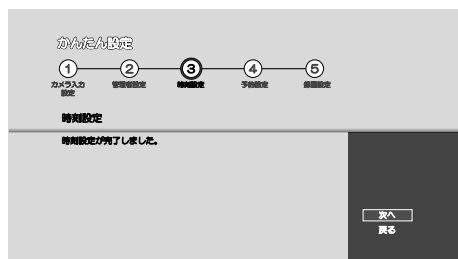
8 “次へ”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

時刻情報の取得が失敗したときは

本機背面の RF 入力端子に地上波の RF ケーブルが正しく接続されているか確認し、 で“はい”を選び、 決定 を押してください。

ご注意

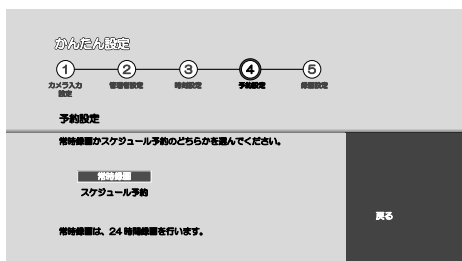
- 自動で時刻情報の取得を行わない場合は、“いいえ”を選び、 決定 を押してください。

9 で自動時刻補正を開始したい「月」「日」「時」「分」を選び、 決定 を押す

- 1 年に 1 回、設定した日時に地上デジタル放送から時刻情報を取得し、本機の時刻を自動的に補正します。
- 自動時刻補正中は録画を停止します。p.27、28

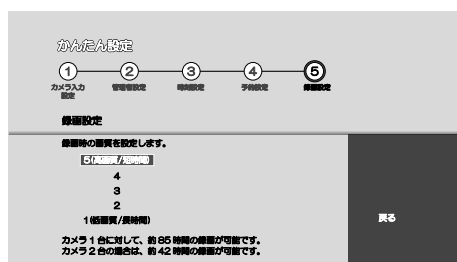
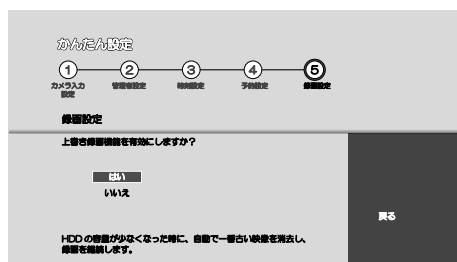
10 “次へ”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

ご注意

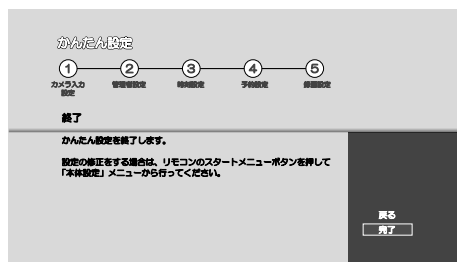
- RF ケーブルが地上デジタル放送のアンテナ線に接続されていないなどの理由により、時刻情報が正しく取得できなかった場合は、手動で時刻設定を行うことも出来ますが、正確な時刻を設定するために、RF ケーブルを接続して再度、時刻情報を取得されることをお勧めします。

予約設定

11 で“常時録画”か“スケジュール予約”を選び、決定を押す

“スケジュール予約”を選んだときは「スケジュール予約をするには」をご覧ください。p.30

録画設定

12 でお好みの画質を選び、決定を押す

13 でお好みの設定を選び、決定を押す

“上書き録画”の補足説明については「録画についての補足説明」をご覧ください。p.27

14 で“完了”を選び、決定を押す

- “かんたん設定”を終了します。

本機の設定 ・つづき

“かんたん設定” をやり直す

1 (スタートメニュー) を押して、スタートメニュー画面を表示する

- ログアウトしている時は、ログインパスワードを入力します。

2 で“本体設定”を選び、決定を押す

3 で“その他”を選び、決定を押す

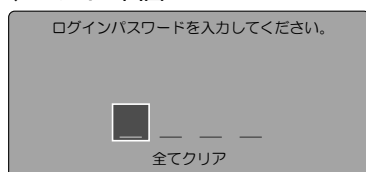
4 で“かんたん設定”を選び、決定を押す

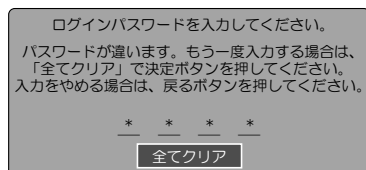
5 p.16～21 の手順 3 ～ 13 を行なう

ログインする

再生ナビやスタートメニューを表示させるには、本機にログインしている必要があります。

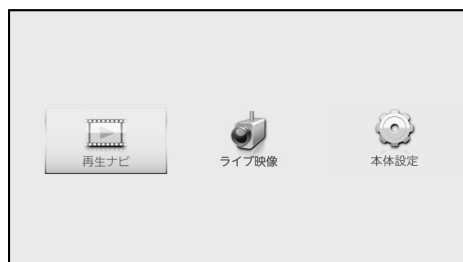
- 「録画」ボタン、「画面表示」ボタン、「チャンネル▲▼」ボタンはログアウト中も操作できます。
- ログイン後も、一定時間後には自動でログアウトします。くわしくは「いろいろな設定を変える（本体設定メニュー）」p.38 をご覧ください。

◆ ログイン画面

本機を操作するは、管理者によるログインパスワードの入力が求められます。
リモコンでお客様により設定されたログインパスワードを入力してください。

ログインパスワードを入力してください。
パスワードが違います。もう一度入力する場合は、
「全てクリア」で決定ボタンを押してください。
入力をやめる場合は、戻るボタンを押してください。
＊　＊　＊　＊
全てクリア

ログインパスワードの入力を誤ると左の画面が表示されます。"全てクリア" が選ばれているので、そのまま 決定 を押し、正しいログインパスワードを再度入力してください。

- パスワードをお忘れになられた場合は、4、7、3、7 を入力するとログインパスワードを初期化します。新しいログインパスワードを入力してください。

スタートメニューについて

◆ スタートメニュー画面

本機の一部の機能は、スタートメニュー画面を表示して操作するようになっています。
スタートメニュー画面は、本機へのログイン後、（スタートメニュー）を押すと表示されます。

- スタートメニュー画面は録画、再生などの動作中でも表示できますが、再生中は再生を停止して表示します。

項目	内　容
再生ナビ p.32	• タイトルリストを表示します。 • 再生を開始したり、USB への書き出し操作ができます。
ライブ映像 p.24	• ライブ映像に切り換えます。
本体設定	• さまざまな機能の設定などを行ないます。くわしくは、「いろいろな設定を変える（本体設定メニュー）」p.38 をご覧ください。

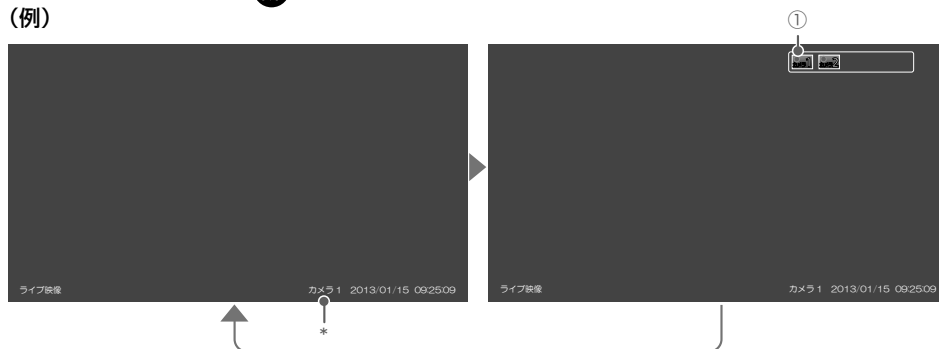
- テレビ画面に "🚫" が表示されるときは、現在その操作を行なうことができません。

基本設定

画面表示の見かた

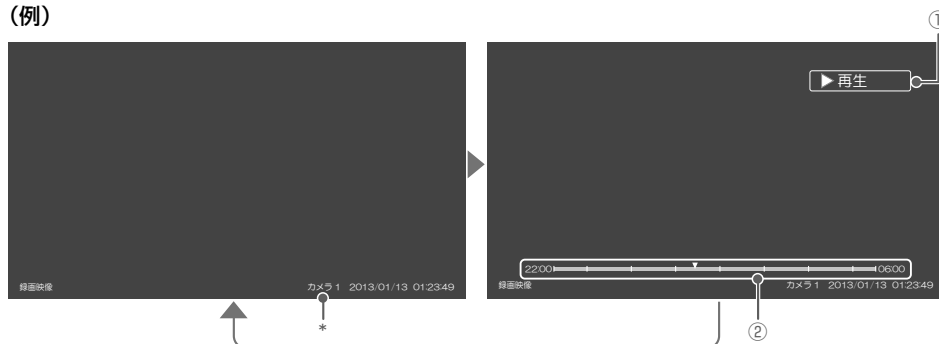
◆ 現在の本機の状態や情報を表示する

ライブ映像表示中にリモコンの 画面表示 を押すたびに、次のように表示されます。

（例）

① 録画中のカメラ番号

* ライブ映像を表示しているカメラ番号と現在の日付／時刻

録画した映像の再生中にリモコンの 画面表示 を押すたびに、次のように表示されます。

（例）

① 再生の状態
② 再生中の現在の位置、チャプター位置を表示します。

* 再生映像を表示しているカメラ番号と現在の日付／時刻

メモ

- 再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。
- 現在の日付／時刻は録画時に記録されます。

◆ 表示されるアイコンについて

電源

⏻ 起動中・・・	電源が入ったとき

録画中のカメラ番号

1	カメラ 1
2	カメラ 2
録画していません	カメラ 1 ／カメラ 2 ともに録画停止中

主な動作

●	録画
しばらくお待ちください	録画停止処理中
●▯▯	録画一時停止（入力信号が検知されなかったときのみ表示されます）
□ 停止	停止
リジューム	つづき再生の停止（リジューム停止）
▷ 再生	再生
▯▯	再生一時停止
▷▷ (1 ～ 4)、◁◁ (1 ～ 4)	早送り、早戻し
▯▷ (1 ～ 3)、◁▯ (1 ／ 2)	スロー、逆スロー再生
▷▷▯、▯◁◁	正方向、逆方向のスキップ
▭⇨、⇨	ワンタッチスキップ、リプレイ

その他の動作

HDD → USB	USB メモリーへのタイトル書き出し中

録画の前に

HDD について

HDD、ハードディスクとは？
大容量データ記録装置の 1 つで、大量のデータの読み書きを高速で行なうことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、この HDD を内蔵しています。

次のようなことは行なわないでください。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気を付けください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源コードを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。（電源を切ったあと、2 分以上経過してから行なってください。）
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDD は、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDD が故障すると、HDD の録画（録音）内容が失われることがあります。

HDD は、録画（録音）内容の恒久的な保存場所とせず、一時的な保存場所としてお使いください。
• HDD は機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。

その他
• 内蔵の HDD をはずして、お客さま自身で HDD を交換することはできません。（正常に動作しません。また、保証が無効となります。）
• 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
• HDD は、お買い上げ時には何も録画されていません。

• **HDD に異常が発生した場合、再生が不能になったり、録画（録音）内容が消えてしまう事があります。消失したデータの保証はできません。**

録画された映像の構成について

• 本書では、録画して本機に取り込んだ映像のことを「タイトル」と呼びます。
•「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。
• 1 回の録画が 1 タイトルとなります。
• チャプターは、約 1 時間単位で自動的に作成されます。

(例)

タイトル1		タイトル2		
チャプター1	チャプター2	チャプター1	チャプター2	チャプター3

タイトル：　HDD の内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。
チャプター：　タイトルの内容を、さらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

録画モードとおよその録画時間（目安）について

録画モードの設定を変更することにより、画質を優先するか、録画時間を優先するかを使い分けます。

録画モード		およその録画時間	記録される画質
5	標準モード	約 85 時間	高画質（短時間）
4	1.5 倍モード	約 128 時間	↕
3	2 倍モード	約 183 時間	
2	3 倍モード	約 251 時間	
1	6 倍モード	約 543 時間	低画質（長時間）

録画についての補足説明

録画全般

- “上書き録画”が“入”の場合、録画中に残量がなくなると録画映像の古い映像から自動的に削除され、録画を継続します。
- “上書き録画”が“切”の場合、録画中に残量がなくなると録画が自動的に停止します。録画を継続したい場合は、“上書き録画”を“入”にしてください。
- 24 時間を超えて録画が継続される場合、自動的に新しいタイトルに切り換えて録画を継続します。RF 入力信号から録画している場合は、24 時間で新しいタイトルに切り換わる際の未録部分の発生を防ぐため、約 1 分間の短いタイトルが作成されます。このタイトルでは受信信号そのままの画質で記録され、日時などの記録はされません。HDMI 入力から録画している場合は、短いタイトルは作成されません。
- 電源を切っている場合、録画しません。また、録画の開始も行なわれません。
- 自動時刻補正中は、約 1 分間録画が中断されます。
- 録画中に以下の状態が発生すると、入力信号が改善するまで、録画一時停止状態となります。
  - “カメラ入力”として“RF 入力”を使用している場合に、OFDM 変調機からの入力信号を検知できなくなった (画面上に“入力映像がありません。”と表示されます) 場合。
  - “カメラ入力”として“RF 入力”を使用している場合に、録画禁止映像が入力されている (録画開始時に“録画禁止番組のため、録画できません。”と表示されます) 場合。
  - “カメラ入力”として“HDMI 入力”を使用している場合に、HDCP 有りや 720p など本機がサポートしていない映像を検知した (画面上に“入力映像がありません。”と表示されます) 場合。
- 録画中に、以下の状態が発生すると、入力信号が改善するまで、黒画にて録画を行います。
  - “カメラ入力”として“HDMI 入力”を使用している場合に、カメラドライブユニットからの入力信号を検知できなくなった (画面上に“入力映像がありません。”と表示されます) 場合。

停電があったときは

- 録画は停電したところで終了します。
- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って HDD の修復処理と時刻補正を行ない、画面上に停電復帰通知が表示されます。また、停電前に録画中だった場合、自動的に録画が再開されます。正しく時刻補正ができなかった場合は、確認画面が表示されますので、画面の指示に従って手動で時刻設定を行なうか、“本体設定”の“時刻設定”を行なってください。
- 停電前後の映像は分割されて再生ナビ画面に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。

メモ

- 録画時間はおよその目安です。また、録画する映像の情報量によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。
- 動きや明るさの変化が激しい映像を録画モードを 1 にして録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- 本機は、効率よく録画を行なうために可変ビットレート方式で録画を行なっており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1 タイトルあたりの連続録画可能時間は、最大で約 24 時間です。
- 録画可能なタイトル数については p.40 をご覧ください。
- 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続している状態で、HDMI 入力端子からの映像を視聴または録画中にテレビの電源を「入」「切」したり、テレビと接続している HDMI ケーブルを抜き挿しすると、本機は HDMI 入力端子からの映像信号を数秒間検知できなくなります。

録画する

録画モード(画質)を変更する

録画を始める前に、あらかじめ録画モード(画質)を設定してください。録画中は録画モード(画質)を変更することはできません。

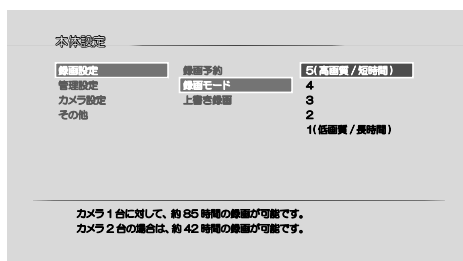
1 (スタートメニュー) を押して、スタートメニュー画面を表示する

- ログアウトしている時は、ログインパスワードを入力します。

2 で"本体設定"を選び、決定 を押す

3 で"録画設定"を選び、決定 を押す

4 で"録画モード"を選び、決定 を押す

- 録画中の場合は、録画を停止する必要があります。で"はい"を選び、決定 を押してください。

- 録画モードについては p.26 をご覧ください。

5 でお好みの録画モードを選び、決定 を押す

手動で録画を開始・停止する

常時録画の停止中や、スケジュール予約で設定した時間以外の録画を行う場合、以下の手順で録画を開始してください。

1 ● テレビの電源を入れる
● テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 「録画モード(画質)を変更する」p.28 の手順 1 ～ 5 を行ない、録画モードを選ぶ

- すでにご希望の録画モードが選ばれている場合は、手順 3 に進んでください。

3 録画 を押して、録画を始める

- カメラを 2 台使用している場合は、チャンネル で録画したいカメラ映像を選択し、録画 を押すと視聴中のカメラ映像を録画できます。

4 録画を停止するときは、■ を押す

- 停止した位置までが、1 タイトルとなります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)
- 確認メッセージが表示されますので、で"はい"を選び、決定 を押してください。

カメラ 1 とカメラ 2 を同時録画中に録画を停止するときは

■ を押します。
- 録画中のカメラが表示されますので、で停止したいカメラを選択して 決定 を押します。

メモ

- 現在録画中のカメラを確認したいときは、画面表示 を押してください。
- 録画 で録画した場合は、一時的な録画となります。次のような場合、録画を再開しません。
  - 年 1 回の自動時刻補正を行なったあと
  - 本体設定を行なうために録画を停止したあと
  - 電源を切にして、電源を入にしたあと

  ただし、この場合でも"常時録画"に設定時、または"スケジュール予約"で登録された時間内であれば、録画を再開します。

常時録画をする

録画方法は、“常時録画”と“スケジュール予約”の２つの方法から選択できます。

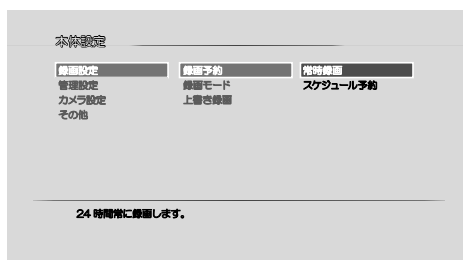
1 (スタートメニュー) を押して、スタートメニュー画面を表示する

- ログアウトしている時は、ログインパスワードを入力します。

2 で“本体設定”を選び、(決定) を押す

3 で“録画設定”を選び、(決定) を押す

4 で“録画予約”を選び、(決定) を押す

5 で“常時録画”を選び、(決定) を押す

- 録画中の場合は、録画を停止する必要があります。 で“はい”を選び、(決定) を押してください。

メモ

- 現在録画中のカメラを確認したいときは、(画面表示) を押してください。
- 録画方法を“常時録画”に設定時、録画を停止しても、ログアウトすると録画が再開されます。

録画する ・つづき

スケジュール予約をするには

録画したい時間帯が各曜日ごとに限定されているときは、1 時間を 1 単位として、最小 1 時間から最大 24 時間まで、お好みの時間帯で録画の予約が行なえます。スケジュール予約は、カメラ 1 とカメラ 2 それぞれに設定できます。

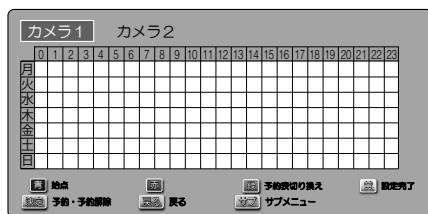
1 (スタートメニュー) を押して、スタートメニュー画面を表示する

- ログアウトしている時は、ログインパスワードを入力します。

2 で“本体設定”を選び、決定 を押す

3 で“録画設定”を選び、決定 を押す

4 で“録画予約”を選び、決定 を押す

5 で“スケジュール予約”を選び、決定 を押す

- 録画中の場合は、録画を停止する必要があります。で“はい”を選び、決定 を押してください。

6 で録画予約したい曜日と時間帯を選び、決定 を押す

- 録画中の場合は、録画を停止する必要があります。で“はい”を選び、決定 を押してください。

- 予約設定された升目はオレンジ色になります。
- オレンジ色の升目で 決定 を押すと予約設定が取り消されます。

1 時間単位で設定するには

- 1 時間単位で設定したい場合は、で設定したい曜日と時間帯の白い升目を選び、決定 を押してください。

24 時間単位で設定するには

- で設定したい曜日の青い升目を選び、決定 を押してください。

同じ時間帯を全曜日に設定するには

- で設定したい時間帯の青い升目を選び、決定 を押してください。

お好みの時間帯と曜日に設定するには

- で録画予約を開始したい曜日と時間帯の升目を選び、青 を押してください。次に、録画予約を終了したい曜日と時間帯の升目を選び、赤 を押してください。

カメラ 2 を設定している場合に、カメラ 1 とカメラ 2 の予約表を切り換えるには

- 緑 を押してください。

7 設定が完了したら、黄 を押す

メモ

- 現在録画中のカメラを確認したいときは、画面表示 を押してください。
- 録画方法を“スケジュール予約”に設定時で、録画を停止しても、ログアウトした時間が“スケジュール予約”で設定した時間内の場合、録画が再開されます。

簡単予約をする

簡単予約では、使用頻度の高い時間帯を４パターン登録しています。あらかじめ登録された時間帯からお好みの時間帯を選んでください。

1 「スケジュール予約をするには」p.30 の手順 **1** 〜 **5** を行なう

- ログアウトしている時は、ログインパスワードを入力します。
- 録画中の場合は、録画を停止する必要があります。で“はい”を選び、決定 を押してください。

2 サブメニュー を押す

3 で“簡単予約”を選び、決定 を押す

4 でお好みの時間帯を選び、決定 を押す

- 時間帯は複数選択できます。

5 で“設定”を選び、決定 を押す

6 設定が完了したら、黄 を押す

予約設定をコピーする

カメラ２の設定をしている場合に、カメラ１とカメラ２で予約設定をコピーすることができます。

1 「スケジュール予約をするには」p.30 の手順 **1** 〜 **5** を行なう

- ログアウトしている時は、ログインパスワードを入力します。
- 録画中の場合は、録画を停止する必要があります。で“はい”を選び、決定 を押してください。

2 サブメニュー を押す

3 で“予約設定コピー”を選び、決定 を押す

4 でお好みのパターンを選び、決定 を押す

5 で“設定”を選び、決定 を押す

6 設定が完了したら、黄 を押す

再生の前に

録画した映像 (タイトル）の一覧（再生ナビ画面）について

録画した映像を見るときは、画面に再生ナビ画面を表示させて、見たい映像を選んで再生します。

- 本書では、録画して本機に取り込んだ映像のことを「タイトル」と呼びます。

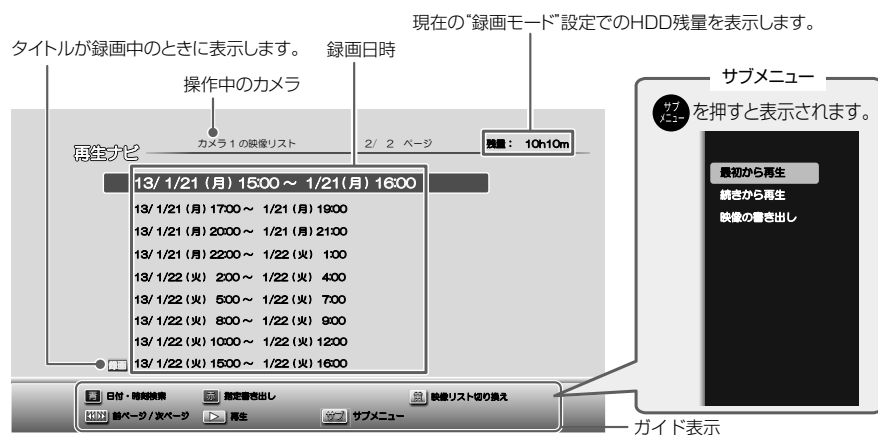
◆ 再生ナビを表示するには

① ・本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換を、本機が接続されている入力に切り換える

② 再生ナビ を押す

- スタートニューから“再生ナビ”を選ぶこともできます。p.23

再生ナビ画面を消すには 再生ナビ画面表示中に 再生ナビ を押します。

再生ナビ画面の見かた

2 ページ以上ある場合に別のページを表示するときは
⏮（前ページ）、⏭（次ページ）を押します。

映像リスト (カメラ) を切り換えるときは
黄 を押します。カメラを 2 台使用している場合のみ切り換わります。

再生したいタイトルを日付・時刻から検索するときは
青 を押します。再生したい日時とカメラチャンネルを で指定し、入力が終わったら 決定 を押してください。

リジュームポイント（“続きから再生”）について

- 再生中に ■ を 1 回押して再生を停止すると、リジュームポイントが記憶されます。リジュームポイントが記憶されたタイトルは、 ► または 決定 を押すと、リジュームポイントから再生します。
- リジュームポイントを解除するには、停止中にもう一度 ■ を押してください。
- タイトルごとにリジュームポイントが記憶されます。
- 再生ナビ画面で見たいタイトルを選び、サブメニュー を押すと、“最初から再生”または“続きから再生”を選べます。
  - “最初から再生”を選ぶと、タイトルの先頭から再生します
  - “続きから再生”を選ぶと、リジュームポイントの続きから再生します。（リジュームポイントが記憶されているタイトルの場合）
- 再生ナビ画面を表示せずに ► を押すと、最後に視聴していたタイトルのリジュームポイントから再生が始まります。
- “続きから再生”が始まる位置は、リジュームポイントによって多少ずれることがあります。

メモ

次のような場合、記憶したリジュームポイントが解除されます

- 停止中に、■ を押したとき。（そのとき選ばれているタイトルのリジュームポイントが解除されます。）

再生についての補足説明

- タイトルの変わり目などで、画面が一瞬静止画になったり、音が途切れたりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 再生開始時や再生停止時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。

録画した映像を再生する

HDD に記録したタイトルを再生することができます。

1 ● テレビの電源を入れる
● テレビの入力切換を、本機が接続されている入力に切り換える

2 [再生ナビ] を押して、再生ナビ画面を表示する p.32

3 [十字キー] で見たいタイトルを選ぶ

- [サブメニュー] を押して、サブメニューから“最初から再生”または“続きから再生”を選んで再生することもできます。
“続きから再生”の再生位置（リジュームポイント）に関しては「リジュームポイント（“続きから再生”）について」 p.33 をご覧ください。

4 [►] または [決定] を押して、再生を始める

- ２台のカメラで同時録画している場合は、一度どちらかのカメラの録画を終了する必要があります。
[►] または [決定] を押すと録画終了の確認画面が表示されますので、録画終了したいカメラを [十字キー] で選択し、[決定] を押して録画を終了すると再生されます。

再生を停止するときは

[■] を押します。

- 再生が停止します。（リジュームポイントが記憶されます。）
- リジュームポイントを記録させない場合は、[■] を２回押します。

メモ

- 再生中は自動的にログアウトしません。
- 再生中、画面左下に“録画映像”と表示され、画面右下にはカメラ番号と録画した日時が表示されます。
- 録画したタイトルが複数ある場合、タイトルが最後まで再生されると自動的に次のタイトルが再生されます。（再生ナビの最後にあるタイトルの場合は次のタイトルが再生されず、再生が停止されます。）

いろいろな再生

速度を変えて再生する

◆ 早く見る（早送り／早戻し）

再生中に、◀◀、▶▶ を押す

- 押すたびに、再生速度が 4 段階で切り換わります。

- ▶ を押すと通常再生に戻ります。

◆ 再生を一時的に止める（再生一時停止）

再生中に、❚❚ を押す

- 再生が一時停止します。
- ▶ を押すと再生に戻ります。

◆ ゆっくり見る（スロー／逆スロー再生）

再生一時停止中に、◀◀、▶▶ を押す

- 押すたびに、再生速度が 3 段階で切り換わります。（逆スロー再生は 2 段階切り換えです。）

- ▶ を押すと通常再生に、❚❚ を押すと再生一時停止に戻ります。
- 再生一時停止中に、◀◀、▶▶ を長押しすると、早戻し／早送り動作となります。

◆ コマを進める／戻す（コマ送り／コマ戻し）

再生一時停止中に、⏮、⏭ を押す

- 押すたびに、再生がわずかに進み／戻ります。

メモ

- 一コマのデータは1／60秒に相当しますので、コマ送り／コマ戻しの操作では変化が分かりにくい場合があります。

いろいろな再生 ・つづき

見たいシーンまでとばす（頭出し）

◆ 見たい／聞きたいところまでとばす（スキップ）

再生中に、⏮、⏭ を押す

- 押すたびに、前の、または次のチャプターにとびます。
- ⏮ の場合、１回目だけは、現在再生中のチャプターの頭にとびます。

◆ ワンタッチスキップ

再生中に、ワンタッチスキップ を押す

- 押すたびに、30 秒後の場面までとびます。

◆ ワンタッチリプレイ

再生中に、ワンタッチリプレイ を押す

- 押すたびに、10 秒前の場面までとびます。

◆ 番号や時間を指定してとばす（サーチ）

1 再生中に、サブメニュー を押して“日付・時刻検索”画面を表示する

日付・時刻検索
再生したい日時とカメラチャンネルを指定してください。
2013年　1 月 15 日（木）　10：30：12　　カメラ 1
入力が終わったら、決定ボタンを押してください。

2 で日付・時刻・カメラチャンネルへ移動し、 で数値・カメラチャンネルを変更し、決定 を押す

- 指定した箇所からの再生を開始します。

ご注意

- 検索で指定した箇所の映像が録画されていない場合、未録画である事をメッセージで通知します。

再生映像を拡大する

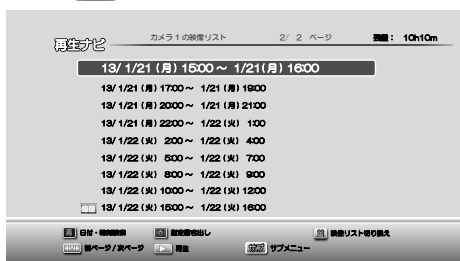
再生している映像を拡大する

再生中に、ズーム を押す

- 映像を拡大中に で拡大位置を移動することができます。
- 映像を拡大中にもう一度 ズーム を押すと、元の画面に戻ります。

タイトルをUSBメモリーに書き出す

HDDに記録したタイトルをUSBメモリーに書き出すことができます。1タイトルをそのまま書き出すか、指定した時間で書き出すかを選択できます。本操作を行なう前に、本機背面のUSB端子にUSBメモリーを接続してください。(USBハブを介しての接続はできません)

1 再生ナビ を押して、再生ナビ画面を表示する p.32

■ 1つのタイトルをそのまま書き出したいとき

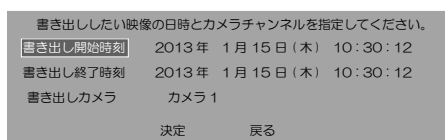
1. 決定 でUSBメモリーに書き出したいタイトルを選ぶ
2. サブメニュー を押す
3. 決定 で"映像の書き出し"を選び、決定 を押す
4. 決定 で"はい"を選び、決定 を押す
   - タイトルの書き出しが開始されます。書き出し中は、画面に進捗状況がパーセントで表示されます。USBメモリーの取り外しは、進捗状況の表示が消えてから行なってください。

■ 時間を指定して書き出しを行ないたいとき

1. 赤 を押す
2. 決定 で"はい"を選び、決定 を押す

書き出ししたい映像の日時とカメラチャンネルを指定してください。

書き出し開始時刻	2013年 1月15日（木） 10：30：12
書き出し終了時刻	2013年 1月15日（木） 10：30：12
書き出しカメラ	カメラ1

決定　戻る

3. 決定 で"書き出し開始時刻"を選び、決定 と 決定 で書き出し開始したい日付と時刻を選び、決定 を押す
4. 決定 で"書き出し終了時刻"を選び、決定 と 決定 で書き出し終了したい日付と時刻を選び、決定 を押す
5. カメラ2が設定されている場合は、決定 で"書き出しカメラ"を選び、決定 と 決定 でカメラを選び、決定 を押す
   - タイトルの書き出しが開始されます。書き出し中は、画面に進捗状況がパーセントで表示されます。USBメモリーの取り外しは、進捗状況の表示が消えてから行なってください。

書き出しを中断するときは

■ を押し、 で"はい"を選び、決定 を押します。

メモ

- システム上、書き出しされない時間が数秒間発生します。
- 書き出し中は、書き出しの停止とカメラ1／カメラ2の切り換え以外の操作は無効です。
- USBメモリーへの書き出し中は録画は行われません。録画中の場合は、書き出し開始時に録画を停止します。なお、"録画予約"の設定が"常時録画"または"スケジュール予約"で予約した時間内であれば、書き出し終了後に録画が再開されます。
- USBメモリーは以下のものをご使用ください。

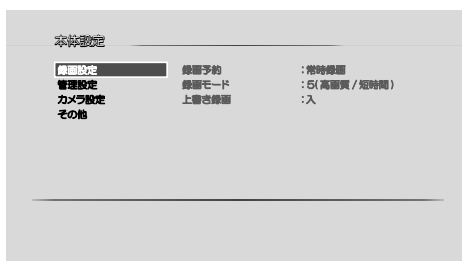
推奨容量	1GB～128GB
フォーマット	FAT16(容量2GB以上は保証外)、FAT32、exFAT

- FAT32では、サイズが4GBを越えるタイトルの書き出しを行なった場合、複数のファイルが作成されます。
- "非対応デバイスが接続されているため、記録映像の書き出しができません。"と表示される場合は、パソコンでフォーマットを確認してください。
- USBメモリーの初期化はパソコンで行なってください。本機では初期化できません。
- USBメモリーへの書き出し例は以下の通りです。
  《例》カメラ1の映像書き出しを実施した際、書き出し後の映像開始日時が13年1月21日23時58分で、終了日時が翌日1時03分の場合
  Cam1_130121_2358_0103.ts
- 書き出したファイルは、USBメモリーのルートディレクトリ(直下)に保存されます。
- USBメモリーに書き出したファイルは、Windows7搭載のパソコンで再生可能です。
  ファイルの拡張子は".ts"になります。
  パソコンの環境によっては再生できない場合がございます。パソコンの操作については、パソコンのご購入先などにご相談ください。
- 時間を指定して書き出し(指定書き出し)を行った場合、複数タイトルにまたがって書き出しを行うと、USBメモリーには複数のファイルが作成されます。
- 動画ファイルの再生には、対応する再生ソフトウェアが必要です。お客様自身のパソコン、再生ソフトの環境をご確認ください。なお、当社は再生に関する一切の責任を負いかねます。

いろいろな設定を変える

“本体設定”メニューを使う

1 (スタートメニュー) を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 で“本体設定”を選び、決定 を押す

3 で希望の項目または設定を選び、決定 を押す

(" 本体設定 " メニューの項目と設定内容に関しては、p.39 をご覧ください。)
この操作を繰り返し、希望の設定に変更する

- 戻る を押すと、左側の設定項目に戻ります。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

スタートメニュー画面に戻るときは (スタートメニュー) を押す
（もう一度押すと通常画面に戻ります）

4 設定が終わったら、通常画面に戻るまで 戻る を押す

ご注意

- 録画中は、設定を変更できない項目があります。その項目を選択すると録画停止の確認画面が表示されますので、設定を変更したい場合は“はい”を選び、決定 を押して録画を停止してください。
- 再生中は、各種設定を変更できません。設定を変更する場合は、再生を停止してから行なってください。

“本体設定”メニューの項目と設定内容

設定のしかたについては、p.38 をご覧ください。（　　はお買い上げ時の設定です。）

項目		設定内容	説明
録画設定	録画予約 p.28	常時録画	24 時間常に録画を行ないます。
		スケジュール予約	指定した時間内で録画を行ないます。 ・ カメラ 1、カメラ 2 毎に録画開始／録画終了時間を指定できます。
	録画モード	5（高画質 / 短時間）	録画時の画質を設定します。 ・ 高画質に設定すると録画可能時間は短くなり、低画質に設定すると録画可能時間は長くなります。
		4	
		3	
		2	
		1（低画質 / 長時間）	
	上書き録画	入	HDD の容量が少なくなった場合に古い映像を消去し、録画を継続するかどうかを設定します。
		切	
管理設定	自動ログアウト	30 秒	本機を一定時間操作しなかった場合に、自動でログアウトされる時間を設定します。
		1 分	
		3 分	
		5 分	
		10 分	
	管理者パスワード変更	ログインパスワードを変更します。 ・ 管理者様ご自身がログインパスワードをお忘れになられた場合は、4、7、3、7 を入力するとログインパスワードを初期化します。	
カメラ設定	カメラ入力設定	HDMI 入力	カメラを本機の HDMI 入力端子に接続する場合は、こちらに設定してください。
		RF 入力	OFDM 変調器を使用してカメラを本機の RF 入力端子に接続する場合は、こちらに設定してください。また、カメラを 2 台接続できるのは、RF 入力端子を使用している場合のみとなります。
	自動切り換え時間	切	カメラ 2 が設定されているとき、カメラ 1 の映像とカメラ 2 の映像を一定間隔で切り換えて表示する間の、表示時間を設定します。
		5 秒	
		10 秒	
		20 秒	
		30 秒	
その他	かんたん設定	かんたん設定を開始します。くわしくは、「本機の設定」をご欄ください。 p.16	
	時刻設定	時刻を設定します。くわしくは、「時刻設定」をご欄ください。 p.20	
	HDD 稼働時間	HDD の稼働時間を表示します。 ・ HDD は消耗品です。正しい録画を維持するために、2 年間使用毎に交換することをおすすめします。	
	バージョン情報	現在のソフトウェアバージョンを確認します。	
	OSS	ソフトウェアのライセンス情報を表示します。	

仕様

一般

電源	AC 100 V 50 ／ 60 Hz
消費電力	16 W
待機時消費電力量	0.35 W
許容動作温度	5 ～ 40 ℃
許容湿度	80%最大（結露なきこと）
時刻表示形式	12 時間デジタル表示、クォーツ制御
外形寸法	280.0（幅）× 50.0（高さ）× 201.3（奥行）mm（突起部含む・AC コードは除外） 280.0（幅）× 50.0（高さ）× 191.0（奥行）mm（突起部含まず）
質量	1.4kg

HDD

内蔵 HDD 容量	500GB
録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264
録音圧縮方式	MPEG-2 AAC(RF 入力時)、MPEG Audio(HDMI 入力時)
録画時間	「録画モードとおよその録画時間（目安）について」 p.26 をご覧ください。

端子部

映像出力	ピンジャック　1.0 V(p-p)　75 Ω
HDMI 出力	HDMI 端子　19 ピン　Type A
音声出力	ピンジャック　2 V(rms)　1.0 k Ω不平衡
USB 機器	ハイスピード USB（USB2.0 準拠）　Type A　DC 5 V 最大 1 A（1 系統）
RF 出力	75 Ω　F 型コネクター
HDMI 入力	HDMI 端子　19 ピン　Type A
RF 入力	75 Ω　F 型コネクター ・入力レベル範囲 1-12ch,C13-C63：-67 ～ -20dbm 13-62ch：-75 ～ -20dbm ・RF 入出力間の通過損失（利得） RF out ＝ RF in ＋約 6dB

この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

- メディアの容量は、1GB=10 億バイト、として計算しています。

最大録画可能数／録画時間について

タイトル数が上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大録画可能数／録画時間は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

- タイトル数　2000
- 1 映像あたりの連続録画可能時間　約 24 時間

困ったときは

よくあるご質問

◆ 録画

質問	回答	参照ページ
デジタル放送の視聴、録画や、デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は受信、記録できますか？	• 本機ではいかなるデジタル放送であっても視聴、録画や記録はできません。	–
カメラ 1 とカメラ 2 の同時録画はできますか？	• できます。	–
HDMI 入力と RF 入力の両方からカメラ映像を入力して、両方の映像を録画することはできますか？	• できません。HDMI 入力する場合、RF 入力は時刻設定のためだけに使用します。	–
本機の HDMI 入力端子に、カメラドライブユニット以外を接続して本機で録画できますか？	• HDMI 入力端子に BD レコーダーなどカメラドライブユニット以外を接続した場合、正常に視聴・録画できません。 • ビデオカメラなどのコンテンツ保護されていない HDMI 信号は録画可能です。	–

◆ 予約

質問	回答	参照ページ
電源を「切」にしたまま予約時間になった場合は？	• 電源が入っているときのみ録画予約が始まります。スケジュール予約を設定していても、本機の電源が「切」のときは録画予約を行ないません。	27

◆ その他

質問	回答	参照ページ
日本全国どこでも使えますか？ 海外でも使えますか？	• 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	7
VTR との違いは？	• 長時間映像も録画できます。 • 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。（ビデオテープのように早送り／巻戻しをする必要はありません。） • パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	– – –

困ったときは ・つづき

こんなメッセージが表示されたときは

◆ 操作全般

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
⃠	• 現在、その操作を行なうことは禁止されています。	23

◆ 録画

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
エラーが検出されたため、正常に終了しませんでした。	• エラーが検出されたため、録画が停止されました。(HDDの異常が原因の可能性があります。) →「おかしいな？と思ったときの調べかた」p.43 の手順 **2** 以降を行なってください。	26
残量不足により、録画を中断しました。「上書き録画」設定を確認してください。	• HDDの残量がなくなったため、録画を中断しました。録画を可能にするには、"上書き録画"設定を"入"にしてください。	39
録画禁止番組のため、録画できません。	• "録画禁止"映像を録画しようとしています。OFDM変調器の"コピー制御レベル"設定が"コピー禁止"になっていると、録画できません。	−

◆ 再生

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
2分以内にカメラ1／2の同時録画状態を迎えるため、記録映像の再生ができません。	• 2分以内にカメラ1とカメラ2の同時録画状態となるときは、同時録画開始の準備を行なっているため、HDDの再生ができません。再生を行なう場合は、カメラ1またはカメラ2の録画を停止させてください。	34
HDDの残量が少なくなりましたので、自動上書きを行うため再生を停止し、記録映像の最も古い場面を削除しました。	• "上書き録画"設定が"入"の状態で再生と録画を同時に行っている場合、HDDの残量が少なくなると、記録映像の古い場面を削除するために再生を停止します。必要に応じて、再生を再開させてください。	−

◆ 視聴

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
入力映像がありません。	• "カメラ入力"として"RF 入力"を使用している場合、以下の原因が考えられます。 - OFDM変調器から信号が正しく出力されていない。 - OFDM変調器で設定されているチャンネルが変更され、本機でのチャンネル設定と一致しなくなった。 - アンテナ線が抜かれている。 • "カメラ入力"として"HDMI入力"を使用している場合、以下の原因が考えられます。 - カメラドライブユニットから信号が正しく出力されていない。 - 本機のHDMI入力端子に、HDCP有りや720pなど本機がサポートしていない信号が入力されている。 - 本機のHDMI入力端子からHDMIケーブルが抜かれている。	− −

◆ 本体前面

ランプの状態(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
ランプが点滅	• 録画ランプが2秒に1回点滅しているときは、本機の起動中です。 • ランプが高速で点滅しているときは、何らかの異常が発生している可能性があります。本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または当社カスタマーセンターにご相談ください。	10 裏表紙

◆ HDD

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
HDDの交換時期が迫っています。 HDDの交換目安を過ぎています。	• HDDの交換をお勧めします。詳しくは、当社カスタマーセンターまでお問い合わせください。	裏表紙

◆ USB

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
現在、映像の書き出し中です。カメラ切り換えのみ可能です。	• 書き出し中にリモコンでできる操作は、書き出しの停止とカメラ1／カメラ2の切り替えのみです。	37

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- アンテナ、テレビ、カメラドライブユニット、OFDM 変調器など、接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな？と思ったときの調べかた

1 **まずは、次ページ からの「こんなときは（症状） － ここをお調べください（原因と対応のしかた）」をご覧になり、現在の症状と対応のしかたをお調べください。**

それでも直らないときは

2 **保護装置＊がはたらいている可能性があります。次の操作を行なってください。**

① 本機の電源を切ることができる場合は、を押して本機の電源を切る
（ 電源 を 8 秒間以上長押しすると、強制的に電源を切ります。）
② 本機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、数秒間待つ
③ 本機の電源プラグを電源コンセントに差し込む（本機が通電状態になります。）
④ 本機が起動したあと、動作を確認する

それでも、まだ不具合があるときは

3 **本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。**

＊保護装置

- 本機では、機器内部に何らかの異常を検知した場合、保護のために保護装置が働き、強制的に電源を切る仕組みになっています。

お知らせ

困ったときは ・つづき

◆ 電源

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
電源が入らない。	• 電源コードのプラグが電源コンセントから抜けていませんか。 → 正しく接続されているか確認してください。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 **2** 以降を行なってください。	14 14 43
電源を入れると、“かんたん設定”画面が表示される。	• ご購入後に初めて電源プラグをコンセントに挿したときは“かんたん設定”画面が表示されます。	16
電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる。	• システムの終了や情報の更新を行なうため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	–

◆ 本機の操作全般

• 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
本機が動かない。 本機の操作ができない。	• その操作が禁止されているときは、“⃠”またはメッセージが表示されます。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • “かんたん設定”実行中は、録画・再生などの操作はできません。 • 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 **2** 以降を行なってください。 • HDD に記録されているタイトル数が多いと、その分、本機の電源プラグを挿しなおした際の起動に時間がかかります。	23 14 16 43 –
本機の設定画面やサブメニューが選べない。表示されない項目がある。	• 設定や項目の操作ができないときは、選べない場合や、表示されない場合があります。	–
本機が正常に動作しない。	• 露付きが起こっていませんか。 → 電源を入れたまま、2 時間以上お待ちください。	7
本体前面ランプが正常に点灯・点滅しない。	• 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 **2** 以降を行なってください。	43

◆ 視聴、チャンネル切換

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
テレビに本機の映像が映らない。	• HDMI ケーブルまたはアンテナー本機－テレビを接続していますか。 • ケーブルやコードを違う端子（入力／出力も含む）につないでいませんか。 • ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。 → 正しく接続されているか確認してください。 • テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	13 13 – –
ライブ映像がテレビに表示されない。	• カメラはきちんと接続されていますか？ → カメラの接続を確認してください。（カメラの電源を含む） • 再生画面になっていませんか？ → ■ を押して、ライブ映像にしてください。	13 –
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった。	• 分配器を使っていませんか。別売のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 • 本機の電源コードを、常に電源コンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。 • アンテナ線と HDMI ケーブルの距離を離してください。	– 14 –
ライブ映像の切り換えができない。	• 再生中は、チャンネル (カメラ 1 ／カメラ 2) の切り換えはできません。	–
チャンネルを切り換えても、そのカメラ番号の映像が映らない。	• “かんたん設定”（“カメラ入力設定”）をしましたか。	17
映像の左右の端が切れる。	• テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	–

◆ 再生（p.33 もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
再生できない。 再生画面が出ない。	• テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	–
“日付・時刻検索”画面で日付・時刻を指定したが、その日付・時刻から再生できない	• 本機で録画した映像の時間帯を指定していますか。	–
タイトルの最初から再生が始まらない。	• “続きから再生”になっていませんか。	34
再生中の映像が乱れる。 再生中の色がおかしくなる。	• 早送り／早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 • 本機とテレビを直接つないでいますか。本機とテレビを VTR などを経由してつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。 • 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。	– 13 –

困ったときは ・つづき

◆ 消去

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
タイトルやチャプターの削除ができない。	• 本機では、タイトルの消去やチャプターの編集はできません。	–

◆ 録画・録画予約（p.26 ～ 27 もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
録画できない。	• アンテナ線や HDMI ケーブルを本機に接続していますか？ • カメラを接続しているチャンネルの“RF 入力”は正しいチャンネルが設定されていますか？ → “本体設定”➡“カメラ設定”➡“カメラ入力設定”➡“RF 入力” • “スケジュール予約”は正しく設定されていますか？ → “本体設定”➡“録画設定”➡“録画予約”➡“スケジュール予約” • “録画設定”の“上書き録画”が“切”になっていませんか？ → “録画設定”の“上書き録画”が“切”になっていると、ハードディスクの残量がなくなった場合、または録画タイトル数が上限に達した場合、録画を停止します。 → “本体設定”➡“録画設定”➡“上書き録画” • “録画禁止”番組を録画していませんか。 → OFDM 変調器の“コピー制御レベル”設定が“コピー禁止”になっていると、録画できません。	13 39 30 39 –
録画予約できない。 録画予約した映像が録画されない。	• 停電があったときは、正しく録画されません。 • 電源を切っている場合、録画しません。また、録画の開始も行なわれていません。	27 27

◆ リモコン

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
リモコンがはたらかない。	• 乾電池が消耗していませんか。 • ボタンの一部が押し込まれた状態になっていませんか。ボタンの隙間などにゴミなどの異物が入り込み、ボタンが押された状態のままでは、そのボタンの信号が送信され続けているため、他のボタンの信号が送信されません。一度全てのボタンを確認してから再度リモコン操作をしてください。 • リモコン受光部に強い光（太陽光や照明など）が当たっていませんか。リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。受光部に強い光が当たらないようにしてください。 • リモコン受光部がふさがれていませんか。リモコン受光部とリモコンの間に障害物などがあると、リモコンが動作しない場合があります。障害物を取り除いてから再度リモコン操作をしてください。	14 – – –

◆ その他

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
何も操作していないのに、本機の内部で音がする。 本機の動作音が大きくなる。	• 冷却用ファンの制御によってファンの回転数が上がったときなどは、動作音が大きくなります。	–
ログインパスワードを忘れてしまった。	• ログインパスワードの入力時に4、7、3、7を入力すると、ログインパスワードが初期化されます。 → 新しいログインパスワードを設定してください。	23

参考資料

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機は、米国「Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GUN LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます。) に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照してください。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、スタートメニュー画面の“本体設定”➡“その他”➡“OSS”に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。(DX アンテナ以外の第三者による規定であるため、原文 (英文) を掲載いたします。)

当該ソフトウェアモジュールについては、DX アンテナ以外に、別途著作権者その他の権利を有するものがおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証(明示するもの、しないものを問いません。)をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害(データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。)についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
busybox linux	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL)
directfb glibc	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL)

さくいん

◆ あ
アイコン 25
頭出し
　サーチ 36
　スキップ 36
　ワンタッチスキップ 36
　ワンタッチリプレイ 36

◆ え
エラーメッセージ 42

◆ か
画面表示 24
かんたん設定 16
簡単予約 31

◆ け
結露(露付き) 7

◆ さ
再生
　一時停止 35
　コマ送り・コマ戻し 35
　再生ナビ画面 32
　スロー・逆スロー 35
　早送り・早戻し 35
　録画したタイトルの再生 34
最大録画可能数 / 登録数 40

◆ し
常時録画 29

◆ す
ズーム 36
スケジュール予約 30
スタートメニュー 23

◆ せ
接続方法 13

◆ た
タイトル
　タイトルとは 26

◆ ち
チャプター
　チャプターとは 26

◆ ふ
付属品 9

◆ ほ
本体
　前面 10
　背面 11
本体設定
　項目と設定内容 39
　設定のしかた 38

◆ よ
予約設定コピー 31

◆ り
リモコン
　ボタン名と働き 12
リモコンの準備 14

◆ ろ
ログイン 23
録画
　録画モード 26
録画する 28

◆ H
HDD
　HDD について 26

◆ U
USB メモリーへの書き出し 37

お知らせ

外形寸法図

保　証　書

●無料修理規定

1．本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。（消耗部品は除く）したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2．保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、当社カスタマーセンターにお問い合せください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。
　また、保証期間経過後の修理についても、当社カスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3．保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当社カスタマーセンターを通じて無料修理いたしますのでお申しつけください。
4．次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
　①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
　②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
　③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。
　④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
　⑤用途以外（例えば車両、船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。
　⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
　⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5．本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in Japan.）
6．お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

品　番	お 買 上 年 月 日	保証期間	お買上日から
DDSRR5H1	年　　月　　日		１ 年 間

ご販売店	ご住所・ご店名 電話（　　　　）　　　-

お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	□□□-□□□□　電話（　　　　）　　　-

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター　フリーコール 0120-941-542　ホームページアドレス　http://www.dxantenna.co.jp/
〔受付時間　9：30～17：00　夏季・年末年始休暇は除く〕携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合　03-4530-8079
DXアンテナ株式会社　本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号　（1302）

DDSRR5H1
2VMN00021A　EEA23JH ★★★★★
Printed in China